



「箕面市・第二次緊急経済対策プロジェクト」

4億65百万円の関連予算案を市議会に提出

平成22年(2010年) 3月19日

箕面市では、国の平成21年度第二次補正予算(「明日の安心と成長のための緊急経済対策」)を活用して、4億65百万円の追加事業を行うべく、関係予算案を現在開会中の市議会に提出しました。

予算案が可決されれば、滝道の電線地中化などによる観光資源の魅力アップのほか、防犯・防災ネットワークの構築やカラス対策の継続など市民生活の安全・安心を守る事業、朝市の活性化や観光プロモーションなど市の活性化のための事業などを実施します。

これにより、先に実施した“緊急経済対策プロジェクト”(総額65億48百万円)と合わせて総額約70億円の経済効果を地元還元することができます。

箕面市では、国の緊急経済対策を最大限活用し、地域経済の活性化及び雇用の創出に努めています。

今回、国の第二次補正で追加緊急経済対策が予算化されたことを受け、市では、早期の情報収集や、各方面への積極的な事業案のプレゼンテーション等、出来る限りのアプローチを行い、4億65百万円の交付金・補助金を受けられることになりました。

上限額の交付は全国で4団体のみ

中でも「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」は、人口等で自動配分される1次限度額に加え、箕面市には2次においても1次と同額が配分されることになりましたが、2次は1次と同額が上限であり、上限まで付いたのは箕面市を含め全国で4団体のみとのことです。これも、滝道の電線地中化などが優良なプロジェクトであると評価された結果であると考えています。

インフラ整備、防犯・防災力の向上などに活用

今回のプロジェクトでは、「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」等を活用したきめ細かなインフラ整備、「ICTふるさと元気事業交付金」を活用した防犯・防災力の向上、「緊急雇用創出事業補助金」を活用した雇用の確保などを積極的に実施します。

先行プロジェクトも進行中

なお、先の“緊急経済対策プロジェクト”(総額65億48百万円)では、国の第一次補正予算を活用し、全小中学校の耐震化や太陽光発電設備の設置、学校安全安心システム(児童の登下校時間の管理や学校侵入者監視など)の構築、箕面駅前広場・滝道等の再整備などを予算化し、現在、市内事業者への発注などによる地域経済活性化及び雇用の創出を図っています。

先の“緊急経済対策プロジェクト”について、詳しくはこちらをごらんください。
<http://www.city.minoh.lg.jp/zaisei/houdou/keizaitaisaku.html>

第二次プロジェクトの事業費 4億65百万円

国庫（府）補助金を活用することにより、

【経済対策効果】

箕面市の負担なしに総額4億65百万円の事業を地域に還元

【きめ細かなインフラ整備効果】

箕面駅周辺整備事業とリンクした、本市の代表的な観光名所である滝道の無電柱化及び美装化による景観性の向上等

【防犯・防災力向上効果】

防犯ネットワーク、防災ネットワークの整備により、地域の防犯・防災力の更なる向上

【雇用対策効果】

- ・新たに現在失業中の方30人の雇用を確保
- ・緊急的な雇用の確保だけでなく、地域における諸問題の解決や地域資源を活用した地域に資する事業の展開

プロジェクト概要

（1）きめ細かな臨時交付金活用プロジェクト

1億87百万円（本市負担：なし）

国の緊急経済対策（第二次補正予算・きめ細かな臨時交付金）を最大限活用
箕面駅周辺整備事業と連携した、市道箕面公園線（滝道）の電線類の地中化（一の橋 橋本亭～河鹿荘付近）及び道路の美装化（橋本亭付近～箕面駅前広場）
市道牧落公園線歩道の段差、波打ち補修工事（阪急牧落駅～市道中央線）など

（2）地域の防犯・防災力向上プロジェクト 1億99百万円（本市負担：なし）

国の緊急経済対策（第二次補正予算・ICTふるさと元気事業）を最大限活用
犯罪の未然防止と防犯力の強化を図るため、観光地等に防犯情報ネットワークシステム（防犯カメラの設置等）を整備
MCA 無線等の整備により、地域自立型防災情報ネットワークシステム（屋外防災スピーカー等）を整備

（3）緊急雇用創出基金活用プロジェクト 79百万円（本市負担：なし）

国の緊急経済対策（第二次補正予算・緊急雇用創造プログラム）を最大限活用
カラスや犬・猫等による生活環境被害を改善するための調査及び啓発等
地域資源を活用した地域特産品の企画開発等
山間山麓部における不法投棄の監視及び回収
ICTに関する相談窓口の設置及び ICT を活用した市業務の一部委託など

問い合わせ先
総務部財政経営課
TEL 072-724-6708（直通）